

キイトルーダの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。()内は抗がん剤の成分名です。

お薬の名前	1日目	2～21日目
キイトルーダ (ペンブロリズマブ) mg	 30分	お休み

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

甲状腺機能障害（甲状腺機能低下・亢進、甲状腺炎）

甲状腺の働きが低下したり、亢進したりすることがあります。甲状腺の働きが低下すると、からだのだるい、むくみが出やすい、寒がりになる、動作や話す速度が遅くなる症状が現れることがあります。また、甲状腺の働きが亢進すると、汗をかきやすい、眼球が突出する、胸がどきどきする、手のふるえ、不眠といった症状が現れることがあります。

⇒甲状腺ホルモンの検査値にあわせて、お薬を使用することがあります。

肝機能障害

肝臓の働きが低下することがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、肝臓の働きを確認します。

⇒お酒やサプリメント、健康食品でも肝臓の働きが低下することもあります。

服用中の方は、主治医に申し出て下さい。

腎機能障害

抗がん剤の影響で腎臓がうまく働かなくなることがあります。腎臓の働きが悪くなると、お薬が体内から抜けにくくなり、副作用が強くなる場合があります。

⇒500mLのペットボトル、2本ぐらいを目安に水分をとりましょう。

〈ご自身でわかる副作用〉

下痢

軟便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられることがあります。血便もしくは黒色便、腹痛を伴う場合は病院への連絡が必要です。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

インフュージョン・リアクション

投与中から投与後、アレルギーに似た症状が出る場合があります。『寒気』『熱っぽい』、『発疹が出る』『息苦しい』『めまい』などの症状がおこった時は、すぐに医療スタッフにお知らせ下さい。

倦怠感

治療開始 2、3 日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

皮疹・皮膚炎

皮膚が赤くなったり、かゆみをともなうことがあります。
症状が強くなった場合は、ぬり薬や飲み薬を使うことがあります。

ふるえ

手足のふるえ、筋肉のぴくつき、けいれんが起きることがあります。

⇒症状が気になる場合は、主治医にご相談ください。

手足のふるえ、筋肉のぴくつき、けいれんが起きることがあります。

血管外漏出

点滴部周辺に不快感を感じる、赤くなる、痛みがでる、腫れるなどの症状があらわれることがあります。

⇒痛みや異常を感じたら我慢せず、すぐに医師・看護師にお知らせください。症状は数日続くこともありますので、外用薬などが処方された場合は継続して塗るようにしてください。

★下記の様な副作用症状が発現した場合は病院へ連絡してください。

- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）
- ★「便が泥状か、完全に水のようにになっている」、「すぐに便意を感じるまたはしぶり腹がある」、「さしこむような激しい腹痛がある」、「トイレから離れられないほど頻回に下痢をする」、「便に粘液状のものが混じっている」（下痢・大腸炎）
- ★「全身に赤い斑点や水ぶくれが出る」、「ひどい口内炎」、「まぶたや目の充血」、「粘膜のただれ」、「発熱」、「体がだるい」（重度の皮膚障害）
- ★「体に力が入らない」、「飲み込みにくい」、「しゃべりにくい」、「まぶたが下がる」、「物がだぶって見える」、「息苦しい」、「筋肉が痛い」（重症筋無力症・筋炎）
- ★「からだのだるい」、「のどの渇き」、「尿量がふえる」、「考えがまとまらない」、「悪心・嘔吐」、「手足のふるえ」、「意識の低下」（糖尿病・糖尿病性ケトアシドーシス）

※これ以外にも、いつもと違う症状を感じたら病院へ連絡してください。

担当薬剤師

